

しづみ 広報

1

IZUMI city public relations

JANUARY 2014

特集

NO.661

農にふれる



北池田小学校でのしめ縄作り

和泉市役所 (代表)

☎ 41・1551

医療機関の案内は…

消防本部 ☎ 41・0119



病气やケガで迷ったときは…

救急安心センターおおさか

☎ # 7119 (24 時間対応)

☎ 06・6582・7119

火災などの

災害テレホン案内は…

☎ 0180・99・7099

事件・事故などが

起きたときは…

和泉警察署 ☎ 46・1234



あけましておめでとうございます



市議会議長
友田 博文

皆様方におかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、アベノミクスによる経済効果で景気が回復基調にある中、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が決定したことは誠に喜ばしいかぎりであり、震災復興の祭典となることを願っております。

一方で、伊豆大島をはじめ各地で台風等による甚大な被害が発生し、自然災害の恐ろしさを改めて痛感いたしました。被害に遭われた皆様には謹んでお見舞い申し上げます。また、南海トラフ巨大地震での被害想定では多数の死傷者が出るとの試算もあり、本市においても様ざまな自然災害に備え、市民の生命・財産を守るため、防災対策への一層の強化が必要と考えております。

さて、本市議会では、市民の皆様にとってより一層身近で開かれた議会運営をめざし、これまで本会議や常任委員会等のインターネット中継をはじめ様ざまな取り組みを進めてまいりました。今後も引き続き、皆様の信託と期待に応えられるよう、議会の役割と責任を果たすとともに、安全で安心なまちづくりの実現のために全力を傾注してまいります。

どうか本年も変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

皆様方には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、2020年オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定し、明るいニュースで国民に大きな夢と希望をもたらしてくれました。東京五輪への道のりが、日本経済の再生、スポーツの振興はもとより、東日本大震災の被災地復興に大きな役割を果たすことを期待しています。

さて、平成12年から進めてきた和泉府中駅前再開発事業では、昨年5月に「新駅舎」が完成いたしました。今春には、バスターミナルやタクシー待機場を設けた駅前広場も完成します。また、あゆみ野には、2つの商業施設の建設が進み、この春・秋にオープンが予定されています。近隣地域では最大級となるショッピングモールの誕生で、新たな賑わいと地域雇用の創出が期待され、和泉市の魅力が更に大きく開花するものと考えています。

そして、最重要課題である和泉市立病院の改革では、「救急医療の再開」、「新病院の建設」、「健全な経営の確立」の3つの課題を解決するため、「医療法人徳洲会」を指定管理者に決定し、4月から新たな一歩を踏み出すこととなります。公立病院として引き続き、「市民の生命と健康を守る」和泉市立病院の改革実現にむけて取り組んでまいります。

今後も、和泉市の更なる発展に努めてまいりますので、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新春の挨拶といたします。



市長
辻 宏康

相談あんない	32
ホットいずみ	31
ZUMI navi	15
市史だより	14
和泉市久保惣記念美術館	13
子育てスマイル情報	12
消費者の窓	11
ひゅーまんらifu	10
高齢支援	9
市立病院	8
いずみいのちの森プロジェクト	6
農にふれる	2



「森づくり」から「人づくり」そして「まちづくり」へ いずみいのちの森プロジェクト

<http://www.izumi-inochinomori.com/>

市では、平成22年度に公民協働で森づくりを推進する「いずみいのちの森事業（プロジェクト）」を立ち上げ、このプロジェクトの趣旨に賛同いただいた各種団体を中心とした実行委員会のもと、市民や企業の皆さんと植樹活動を通じて、地域の環境整備、潤いのある緑豊かなまちづくりに取り組んでいます。

いずみいのちの森プロジェクトとは…

いずみいのちの森プロジェクトは、市内にたくさんのお木を植え、緑豊かなまちにしようという計画です。

平成25年11月末現在、市内の公園などに20,643本の植樹を行いました。

市民1人あたり1本を植樹した数18万本の植樹目標を達成できるように、引き続き公民協働で多数の植樹を行っていきます。

植樹・管理、どんぐり苗木の育成など、いずみいのちの森事業の取り組みはたくさんあります。

【目的】

○環境に優しいまちづくり：植樹により地球温暖化を防



ぎます

○安全・安心なまちづくり：樹木が地域の防災能力を高めます

○やすらぎ・潤いのあるまちづくり：緑が健全な都市環境をつくりま

【取組】

○植樹による森づくり

「いのちの森」という名前のとおり、メインは森づくりです。公園・緑地や公共施設用地などに苗木を植えています。

また、植樹祭や植樹活動には、市民や各種団体の皆さんの協力を得て、公民協働で実施しています。

○どんぐり・種子からの苗づくり

森づくりで植える木は、その地域の樹木が望ましいと考えます。そこでその1つの方法として、市民の皆さんに集めていただいたどんぐり

を預かる「いずみいのちの森銀行事業」を行っています。

そのどんぐりを市内の小中学生や幼稚園児の皆さんに育てていただいています。また、企業の皆さんには、独自に育てたどんぐりをいずみいのちの森プロジェクトに提供していただいています。このようにして育てた苗木は、植樹祭や植樹活動を通じて森づくりの樹木として植えていきます。

○苗木の市民配布

市民や町会・自治会、その他団体の皆さんに苗木を配布して、様々な場所への緑化をめざしています。

詳しくは、公園緑地課までお問い合わせください。

出生・転入の記念に苗木をプレゼント

出生・転入の記念として、苗木を無料でプレゼントしています。

対象：市内在住で出産された人または和泉市に転入された人

樹種：シマトネリコ、オリブ、ブルーベリー、ドングリほか（樹種は時期により変更します。高さ50cm程度）

申込…随時、公園緑地課に直接
※記念プレートもプレゼント
※苗木はその日に持ち帰ることができま

新築記念に

庭などに樹木を植えてみませんか。新築の記念に苗木をプレゼント（上限3本）しています。

対象：これから市内で戸建住宅を新築する世帯または申請日の1年前以降に戸建住宅について検査済証が交付された世帯

配送月…5・9・12・2月

申込…公園緑地課に備えている申請書を記入のうえ、配送月の1月前の15日までに公園緑地課に直接

※植栽前及び植栽後の写真の提出が必要

※樹種及び配送日時等について希望に添えない場合があります

※植え付け及びその後の管理は申請者が行ってください



建築・開発樹木助成

市内で、建築行為・開発行為を行い、法令や条例等で課せられる義務以上の緑化をされる人に樹木（上限50本）を提供しています。

詳しくは、公園緑地課までお問い合わせください。

植樹本数を教えてください

市民の皆さんが自宅の庭やマンションのベランダ、企業の会社の敷地などに自ら樹木を植えられた場合、市民1人1本の植樹活動の本数として、カウントさせていただきます。申請いただいた中から、毎月抽選で3人に粗品を贈呈しています。

申込：公園緑地課に備え付けの申請書を記入のうえ、公園緑地課に直接

植樹しませんか？

町会・自治会、各種団体の皆さんが地域で実施する植樹活動に対して、苗木を提供します。また、個人や企業の皆さんが私有地敷地内に植樹する場合や各種イベントでの苗木の無料配布を行っています。



詳しくは、公園緑地課までお問い合わせください。

どんぐりを育ててみませんか？

「いずみいのちの森銀行」に預けられたどんぐりを、自宅の庭やベランダ、企業の敷地などで育ててみませんか。どんぐりを拾い、育てる活動は、子どもから大人まで一緒に参加することができま

す。この活動により、次世代を担う子どもたちや地域の人と一緒に、環境意識を高めていきます。

育てていただいた苗木は、森の再生に役立てられます。詳しくは、公園緑地課までお問い合わせください。

問：公園緑地課
☎ 99・8139

笑働の森・いずみいのちの森記念植樹祭を開催しました

平成 25 年 11 月 2 日に槇尾山町で「笑働の森・いずみいのちの森記念植樹祭」を行いました。

笑働の森は、平成 23 年に槇尾川ダムの事業中止を受け、事業用地の森の再生に向けて行っている地元・企業・学校・行政による協働事業です。いずみいのちの森記念植樹祭では、森の再生を目的に、市内の幼稚園や小学校などで育てた「いずみいのちの森銀行」の苗木と企業から提供いただいたどんぐりの苗木 1,800 本を植樹しました。

